

授業科目 義肢実習II（義手実習）

【 担当教員名 】		対象学年	3	対象学科	義肢
月 城 慶 一、東 江 由起夫 大 塚 博、福 田 弘 和		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【 概要 ・ 一般目標 : GIO 】 上肢切断者に対する接し方を学び、義手製作に必要な情報収集を行い、製作すべき義手の仕様を決定した後、モデル切断者の協力を得て、採寸／ギプス採型を実習する。ギプスモデルの修正とソケット製作、仮組み立てと仮あわせ、各パーツの取付と調節、義手の装着方法と義手使用の練習指導を実習する。					
【 学習目標 】 1. 採型から適合評価までの一連の流れを説明できる。 2. 上肢切断者とコミュニケーションをとり、身体、断端および既往義足を評価し、情報カードに記入できる。 3. ハーネス式能動義手に適した採寸および採型を行なうことができる。 4. ハーネス式能動義手を組み立てることができる。 5. 筋電義手を組み立てることができる。 6. 製作した義手の適合を多角的に評価し、適切に修正できる。 7. 製作した義手の見積書を作成することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ハーネス式前腕能動義手			1～7	実習、大塚
2	ハーネス式前腕能動義手			1～7	実習、大塚
3	ハーネス式前腕能動義手			1～7	実習、大塚
4	ハーネス式前上腕動義手			1～7	実習、東江
5	ハーネス式上腕能動義手			1～7	実習、東江
6	ハーネス式上腕能動義手			1～7	実習、東江
7	筋電義手			1～7	実習、月城
8	筋電義手			1～7	実習、月城
9	筋電義手			1～7	実習、月城
【 使用図書 】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版	2007・7,350円
その他の資料					
【 評価方法 】 出席50%、宿題30%、最終テストまたはレポート20%		【 履修上の留意点 】 原則、授業の1／3までの欠席の者は、科目評価資格を失うものとする。 遅刻2回で1回の欠席とする。 最終評価から1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点とする。			